

ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



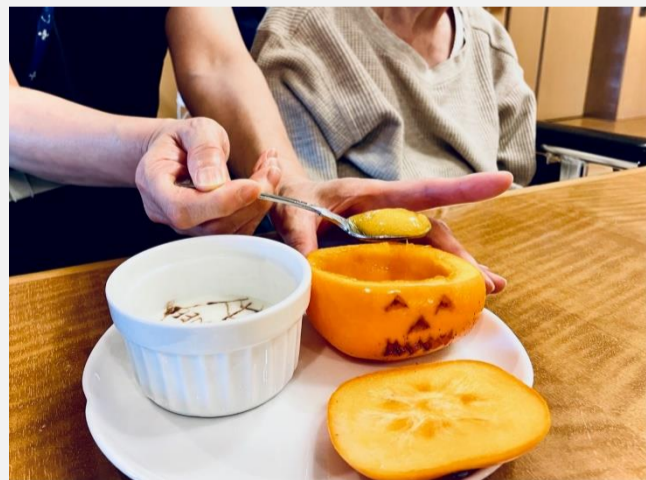
写真= 4F庭園 ペチュニア (2022年11月4日)

今年も新記録

岡 聖史
2022年 11月 1日

寒さが徐々に近づいてくる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。11月という「もう年末なの!?!」と驚かれる方が多いのではないのでしょうか。この驚きは何年たっても慣れることはないかもしれません。私は年々早くなっているように感じます。その為、毎年「もう年末なの!?!」の新記録が生まれ、相も変わらず驚き続けています。

さて、今月はESSEN移動パンと4F庭園のお芋堀をピックアップいたしました。サツマイモを育てるのは初の試みでしたので、上手く育ったか非常に気になります。皆様の生活の様子も記事にしましたので、是非ご一読ください。



写真=スペシャルデザート (2022年10月31日)
左: ミルクプリン HAPPY Hallowingの文字はチョコで。
右: 柿のムース ジャックオーランタンを模った柿のデザート



写真= ご入居者様がESSEN移動パンにてお買い物をしている様子(2022年 11月 5日)

秋のパンは・・・

近藤 弘成
2022年11月11日

立冬を過ぎ、ロイヤルホーム隣を流れる柿生川の桜並木はすっかり葉っぱが黄色や赤色に変わり、水辺の彩となっています。今月は、パン屋さんの「エッセン」の特集です。毎週土曜日の13時頃に、横浜市は緑区よりエッセンの移動販売車がホームにやってきました。週末のイベントとして、ご入居者様は今か今かと心待ちにされており好評を頂いております。

各フロアのスタッフが、ご入居者様をご案内させて頂きながら、1F正面玄関前のエッセンにご来店です。屋外である為、「密」を未然に防ぐ事が出来ます。店頭には、職人さんが手作りで仕上げた様々なレパートリーのパンが並んでいます。食パンやバゲットといったオーソドックスなもの

から、具沢山の惣菜が入ったサンドウィッチやお食事パン、楽しみが膨らむ菓子パンやスイーツ、クッキーもごぞいます。

ご入居者様が店頭まで出向かれ、ご自身で商品を選び、買い物を楽しまれる様子は、非常にいきいきとした表情が見られ、活動度の向上となり、皆様が笑顔になれるひとときとなっております。エッセンに訪れたご入居者様は、「久しぶりに買い物ができた」と喜んで下さいます。日々の体調変化により、来店が難しいご入居者様には、スタッフが事前にご希望の商品をお聴きして、代行させて頂いております。

あるご入居者様にお話を聞くと、「卵の入ったクロワッサンサンドとクッキーを毎週買うのが楽しみ」と笑顔で話していたのが印象的でした。

今月のトピック

- #秋のパンは・・・
- #11月のお芋ほり
- #委員会活動報告(サポート委員会)
- #スタッフ紹介

11月のお芋ほり

平川 昌史
2022年11月8日



写真=お芋ほり（10月19日）
サツマイモと山芋を収穫している様子。サツマイモは丸く太い形になりました。石原氏がサツマイモを掘り起こし、ご入居様様が土を払い落としている場面。

10月19日待ちに待ったサツマイモの収穫を行いました。10本苗を植え8本実がなり15、6個を収穫出来ました。収穫までは思った以上に弦が伸びた為に弦返しをし、弦から新たに芋ができないよう（そちらに栄養がいくと小ぶりなるため）にしたとのこと。毎年じゃがいもを植え収穫していましたが、今年は初めてサツマイモを植えたとのこと。ドライバー兼営繕の石原さんが収穫し、サツマイモをご参加いただいたご入居者様に持っていただくと歓声があがる一場面も見られました。昔を懐かしんでご入居者様から戦争の時芋づるをご飯にまぜ食べたという貴重な体験談をお聞きしました。参加されたご入居者様からは「手袋をして持ち感触を楽しんだ」「サツマイモの料理が楽しみ」「昔お子さんとお芋ほりにいかれたのを思い出した」というすてきなお話もいただきました。さて収穫したサツマイモは1ヶ月ほど倉庫で寝かし甘くしてから厨房で料理をしていただけるようです。すてきな笑顔の思い出が、更に増える事を期待しております。

お知らせ

- ・ロイヤルタイムス：10月より発行頻度を2か月に1回へ変更させていただきました。
- ・ご面会：11月より、45分/回で再開しています。
- ・Instagram：総生会の投稿を開始しました。

委員会活動報告（サポート委員会）

岡 聖史
2022年 11月 11日

サポート委員会では、年間のイベント活動、日々のレクリエーション、広報の発行を主として活動しています。2021年・2022年と年間行事の開催は自粛せざるを得ない状況が続いています。特に、ご入居者様一同で開催する大型のレクリエーションや年間行事は開催が困難となっています。2022年は、夏の納涼祭風レクと第7波のピークが重なり自粛せざるを得なくなりました。

しかし、年間でみるとコロナウイルスの流行の波がピークアウトした時期にイベントを実施してきた結果、2か月に1回の頻度で実施できました。2021年は年間を通じて2回のみで開催でしたので、今年は大きく前進したと考えています。

日々のレクリエーションについては専任介護士が主導となっていますが、委員会として「〇〇を取り入れてほしい」と依頼することがあります。また、レクリエーションへの参加率やレクリエーションの開催頻度、1回の時間等も算出し、年間の目標として

しています。これらの背景には国が掲げている介護予防事業の目標があり、社会的孤立の防止や、認知機能の維持、精神機能の維持がその一部として取り上げられています。

今後も、ロイヤルのサービスが適切に提供できるよう努めてまいります。

スタッフ紹介

2023年 11月 1日



振り返り

岡 聖史
2022年 10月 31日

Instagram(インスタグラム)は多くの人が利用しているアプリケーションです。写真を中心とした個別の投稿ですが、企業や病院単位でも利用が広がっているようです。メディアの種類にはそれぞれ特徴があり、映像メディアは単純な情報を直感的に伝えるのに適しているという利点があります。今後の高齢社会においては、情報格差のフォローをいかに行うかがポイントですね。